授業デザイン

教科・科目名：外国語・英語表現Ⅱ　　令和２年　１０月２７日（火）

実施学級：２－４
実施場所：２年４組
単元名　：Speech and Presentation　　1／3 時

1　本時の指導目標	①スピーチとプレゼンテーションの違いについて理解することができる。 ②プレゼンテーションに必要な視覚援助とその重要性について生徒間で説明し合うことができる。
2　本時の手立て	①プレゼンテーションで用いられる視覚援助がない状態で、順不同で列挙された英文を正しい順序で並び替える活動を行う。 ②視覚援助で提示される情報を与え、視覚援助の必要性について討議させる。 ③省いていたディスコ―スマーカーを与えたり、プレゼンテーションで使用される表現を与え、ある場合とない場合の比較をさせる。
3「深い学び」に導くための問い	問い What is your best friend in presentation?
	問いのレベル **■Ｉレベル　Ideas　知識、技能の習得** （基本的な事項、基礎的な事実関係、定義、基本的な概念等を確認するような問い） **■Ｃレベル　Connections　既知の知識・概念や他領域とのつながり** （教科の既習内容、他教科の内容、実生活の内容などと、学んだことの関係やつながりを理解させる、あるいはそれらとつなげて説明させるような問い） **□Ｅレベル　Extensions　応用、活用** （学んだことを全く新しい状況に応用させるような問い。答えが一つに定まらない問い。リアリティがあり、他者性を前提とした問い）

4　学習の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入	● 本時の学習概要と目標を知る。 ● ブリタニ―先生からスピーチとプレゼンテーションの違いを英語で説明を受ける。聞き取りメモを取る。 ● スピーチとプレゼンテーションの違いを、メモをもとに生徒間で確認する。	● 学習の流れを説明し、目標について確認させる。 ● メモを取るよう指示する。 ● 取ったメモをもとに、スピーチとプレゼンテーションの違いを確認させる。主な違いは視覚援助であることを確認させる。	

展 開	● Task2 順不同で並べられた英文を内容から並び替える。 ● 分からないときにはペアで意見を交換しながら取り組む。 ● どんな情報が必要か発表する。 ● Task3 に各自取り組む。 ● ディスコ―スマーカーがあるのとないのではどのように違うか話し合い、発表する。 ● アウトラインについての説明を聞き、プレゼンテーションには欠かせない視覚的補助として理解する。 ● 教科書 P47④でプレゼンテーションで使われる表現を確認。 ● 次回以降にとりくむ内容を確認する。	● プレゼンテーション原稿を視覚援助なしで並び替える活動をするので、難しいであろうこと、ではどのような情報があればいいか考えたり意見交換したりしながら行うよう指示する。 ● １枚目のワークシートを確認させ、アウトラインについて説明し、アウトラインを見ながら並べ替えを再度するよう指示する。 ● アウトラインを見ながらタスク３に取り組むよう指示する。 ● ディスコ―スマーカーの有無の違いについて発表させる。 ● 文と文の関係がディスコ―スマーカーで分かり易くなることを確認する。 ● アウトラインがあり、ディスコ―スマーカーが効果的に使用されている文章の読みやすさや理解しやすさについて再度確認する。 ● 教科書ｐ４７④のプレゼンテーションで使われる表現を確認するよう指示する。 ● 次回の活動につながるよう task４シートについて説明する。	Task 2 & 3のシートの提出
ま と め	● 学習のまとめと振り返りをする。 プレゼンテーションでは何が必要か、視覚的援助があれば聞き手はどのようなことが分かるのかをパートナーと確認する。	● プレゼンテーションで必要なことはなにか、視覚的援助があるとどのようなことが分かり聞き手は分かり易くなるのか質問する。	